

ボランティア奨励コンテスト一分かち合い、考え、ともに歩むー 募集のご案内

内容：課題解決型ボランティア活動の奨励を目的としたコンテスト

- * 正課内・正課外問わず、課題解決型ボランティア活動を表彰する。
- * 感染症が拡大する状況下においても、地域社会での新しいつながり・新しい手段でのつながりを作り出すボランティア活動について、学生自らが様々な観点から自由に課題を設定し、活動を展開する。無論、感染予防に配慮した活動であること。

活動例：

- ・オンラインまたは手紙等による交流活動（対子供、高齢者、福祉施設入居者など）
- ・レシピ考案・周知活動（免疫力向上、時間短縮など）
- ・健康体操・ダンスなどの実践活動
- ・手洗いの工夫 子供向け手洗い歌の考案など
- ・オリジナルマスク作りおよび寄贈（機能性・デザイン・素材へのこだわり、特定の対象者を想定したものなど）

- * エントリーは学生が2名以上で行い、活動は一定期間を定めたものとする。また、メンバーの半数は本学学生であること。

なお、ボランティア活動支援センターは次のような支援活動も行う。

- * 活動内容の情報発信支援（本学広報誌・ホームページ等）
- * ボランティア仲間の募集支援（正課外）
- * 感謝・交流会の実施（情報交換・共有、これまでの活動を振り返り、励まし称え合う場の提供）

スケジュール（流れ）：エントリーから表彰まで

募集開始

4月23日（金）

エントリーシートの提出

10月29日（金）締切

自己評価シートの提出 活動経過・中間成果概要

11月10日（水）締切

1次審査

11月20日（土） 今出川キャンパス EVE

2次審査・表彰

2月中旬 京田辺キャンパス

いま本学で行われている
様々な活動を支援し、
あたたかな励まし合いの
場を築きます！

審査手順・表彰など

審査員は学内教職員（5名程度）を予定。可能であれば外部審査員1名以上を含む。

【1次審査】

EVE 期間中にポスターセッション実施。EVE 参加者による投票を加味し、審査員が総合的に判定する。
原則7団体が2次審査に進出。

【参加賞（図書カード）】

・参加賞 1,000円×審査参加者
審査に参加した本学学生に授与する。（1次・2次とも）

【2次審査・表彰】

公開プレゼンテーションを行い、審査を経て表彰する。（茶菓あり。各団体が情報交換・共有、これまでの活動を振り返り、励まし称え合う。ポスターセッション全参加者を対象。）

【表彰（賞状と副賞：図書カード）】

・最優秀賞 10,000円×1団体
・優秀賞 5,000円×2団体
・ノミネート賞 3,000円×4団体
2次審査まで完遂した団体を対象に表彰する。
原則、本学学生に対して授与。金額は1団体あたり

ボランティア奨励コンテスト一かち合い、考え、ともに歩むー 募集要項

1. 目的：女性の視点で社会を『改良』できるボランティア活動を

本学ボランティア活動支援センターは、建学の精神・教育理念を深く理解し、ボランティア活動を通じてその理念を他者のために実践できる学生を育成し、支援することを目的として 2015 年 4 月に開設されました。

ボランティアには、よりよい社会をつくる「創造性・開拓性・先駆性」という性格があると言われています。社会の変容、少子高齢化や多様化が進む中、定型の活動ではなく、地域社会にある課題を取り上げ、その解決を目的にチームで知恵を出し合う活動がこれからますます必要となってきます。

ボランティア活動支援センターは、このような背景から、PBL(Project-Based Learning)、すなわち、課題解決型のボランティア活動を支援する制度を設けます。課題解決型のボランティアを推進することにより、地域社会との連携を果たすだけでなく、教職員と学生、各種団体等とのネットワークづくりを促進することにつながります。また、学生が社会貢献に向けて互いに励まし合い、ともに向上できるようなボランティア精神が広く根付いた大学づくりにも寄与します。

この制度を通じて、Vision150 にも掲げました、「共感と共助の精神を持った女性の視点から社会を見つめ直し、考え、変えていく」女性、「自由かつ主体的に他者への愛を実践できる女性、社会において『地の塩、世の光』となりうる女性がリーダーシップを発揮して社会を改良する」人物を育むことを目指します。

〔まとめ〕

- ・女性の視点で社会を『改良』できるボランティア活動の促進
- ・地域社会との連携、教職員と学生、各種団体等とのネットワークづくり
- ・学生が自ら課題を取り上げ、解決に取り組む自律的・主体的活動の促進

2. 対象となる活動

学生が中心となった構成員で、地域社会（近畿圏に限定せず）における課題を見出し解決するための活動であり、授業の一環としての活動、また授業以外での事業としての活動を含む。

感染症が拡大する状況下においても、地域社会での新しいつながり・新しい手段でのつながりを作り出すボランティア活動について、学生自らが様々な観点から自由に課題を設定し、活動を展開する。無論、感染予防に配慮した活動であること。

活動例：

- ・オンラインまたは手紙等による交流活動（対子供、高齢者、福祉施設入居者など）
- ・レシピ考案・周知活動（免疫力向上、時間短縮など）
- ・健康体操・ダンスなどの実践活動
- ・手洗いの工夫 子供向け手洗い歌の考案など
- ・オリジナルマスク作りおよび寄贈（機能性・デザイン・素材へのこだわり、特定の対象者を想定したものなど）

3. ボランティア奨励コンテストの流れ

ボランティア奨励コンテストは、実践中または計画中の上記対象となる活動について、本学学生が応募し、活動の成果についてポスターセッションおよびプレゼンテーションの各審査を経て、優秀団体を表彰する。コンテスト形式であるが、多くの団体を表彰し、活動を奨励したい。

4. コンテスト応募資格

応募ができるのは、同志社女子大学学部生・専攻科生・大学院生とする。(休学者を除く)

5. 活動する者の登録について

活動をする者は下記のいずれかに該当し、2名以上でエントリーシートに登録しなければならない。
なお、メンバーの半数は本学学生であること。

- 1) 本学学部生・専攻科生・大学院生(休学者を除く)
- 2) 本学留学生・国内留学生
- 3) 本学専任教職員
- 4) その他ボランティア活動支援センター長が認めた者

エントリーシート提出後、自己評価シート提出期限日(11月10日(水))まで活動する者を募集・追加することができる。

6. 応募方法・期限

「エントリーシート」に必要事項を記入のうえ、ボランティア活動支援センターへ提出。希望する団体にはExcelファイルの入力様式を添付送信する。窓口提出・e-mail添付送信のどちらでもよい。

応募期限：2021年10月29日(金)17時00分 e-mail volunt-t@dwc.doshisha.ac.jp

7. 今後のスケジュール

- 1) エントリーシートの応募期間

2021年4月23日(金)～10月29日(金)

- 2) 自己評価シートの提出期限

2021年11月10日(水)

- 3) 1次審査

2021年11月20日(土) 今出川キャンパス EVE(大学祭)と同日開催

ポスターセッション実施。EVE一般参加者による投票を加味し、審査員が総合的に判定する。原則7団体が2次審査に進出。A0サイズ1枚、データ・紙媒体両方準備。(予定)

- 4) 2次審査・表彰

2022年2月中旬 京田辺キャンパス

公開プレゼンテーションを行い、審査を経て表彰する。(茶菓あり。各団体が情報交換・共有、これまでの活動を振り返り、励まし称え合う。ポスターセッション全参加者を対象。)

※1次審査・2次審査の発表について、活動途中の場合は、中間成果の発表も可。

8. 参加賞・表彰

審査に参加した本学学生を対象に参加賞
(図書カード 1,000 円) を授与する。(1 次・2 次とも)

・参加賞	1,000 円×審査参加者 (50 名程度想定)
------	-----------------------------

2 次審査まで完遂した団体を対象に表彰する。
賞状と副賞(図書カード、金額は右記)を贈呈する。
原則、本学学生に対して授与。金額は 1 団体あたり。

・最優秀賞	10,000 円×1 団体
・優秀賞	5,000 円×2 団体
・ノミネート賞	3,000 円×4 団体

9. 審査員(予定)

学内教職員(5 名程度) 可能であれば外部審査員 1 名以上を含む。

10. 備考

【経費について】

当該活動に係る経費は、応募者が確保すること。また、ゼミ予算などの校費または公的な助成金(官学連携事業等)を使用する場合は、支出に関する規則等を遵守すること。

【保険について】

学生の活動については、大学管理下の活動として認め、全学生が加入している学生教育研究災害傷害保険(学研災)・学研災付帯賠償責任保険(学研賠)の対象となる。また、連絡及び手続きが遅れた場合、保険請求ができない場合があるため、事故(傷害)発生後、30 日以内に連絡すること。

【広報について】

応募団体の活動については、本学広報誌、ホームページにおいて広報を行う。活動成果および発表内容に関する著作権は同志社女子大学に帰属させる。(本学以外の団体等による助成の対象である事業の場合を除く) また、活動の中途であっても、当センター担当者等が活動内容を取材する場合がある。

11. 問い合わせ先

同志社女子大学ボランティア活動支援センター

(京田辺：新島記念講堂宗教部内、今出川：栄光館 1 階 E102 宗教部内)

京田辺：Tel.0774-65-8812 e-mail volunt-t@dwc.doshisha.ac.jp

今出川：Tel.075-251-4252 e-mail volunt-i@dwc.doshisha.ac.jp

以 上

※今後必要に応じて、ボランティア活動支援センター運営委員会にて協議することがある。